

2026 年 1 月 29 日

一般社団法人 日本視機能看護学会会員の皆様

一般社団法人日本視機能看護学会

理事長 永野 美香

学会誌編集委員長 加藤 礼

**【重要】学会誌『日本視機能看護学会誌』第 11 巻より完全電子ジャーナル（Web 発行）への移行のお知らせ**

平素より本学会の活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、日本視機能看護学会誌では、研究成果のより迅速な発信および学術情報のアクセシビリティ向上を目的として、第 41 回日本視機能看護学会学術総会にて告知し、理事会の決議を経て、**第 11 巻（2026 年度発行）より、従来の冊子体（紙媒体）による発行を終了し、J-STAGE での公開を主軸とした「完全電子ジャーナル（Web 発行）」へ移行することといたしました。**

本学会誌はこれまでも J-STAGE にて公開を行ってまいりましたが、今後はオンライン公開を正本とすることで、時代のニーズに即した情報発信の最適化を目指してまいります。

尚、学会誌の冊子体の配布を中止しますが、会員年会費は現状通りとさせていただきます。冊子体の配布を中止により削減できた経費は、現在の事業の拡大や新たな事業の経費とさせていただきます。

すでに 1 月 15 日より第 11 巻の論文投稿受付を開始しておりますが、今後の運用につきまして以下の通りご案内申し上げます。

**1. 変更の内容**

**発行形態：** 冊子体（紙による印刷・郵送）を廃止し、電子ジャーナル（PDF 形式）として発行します。

**閲覧方法：** 従来通り、J-STAGE（科学技術情報発信・流通総合システム）にてどなたでも閲覧・ダウンロードが可能です。

**対象：** 第 11 巻（現在投稿受付中）に掲載されるすべての論文より適用いたします。

**2. 電子ジャーナル化のメリット**

**迅速な情報発信：**印刷・製本工程がなくなるため、採択から公開までの期間短縮が可能となります。

**視認性の向上：**誌面上の図表や写真をカラーで鮮明に掲載・閲覧いただけます。

**検索・引用の容易化：**検索エンジンからのヒット率が高まり、国内外のより多くの研究者・実務者に論文が参照されやすくなります。

### 3. 既投稿者および投稿をご検討中の皆様へ

すでに投稿いただいた論文、およびこれから投稿される論文につきましても、本運用に基づき電子ジャーナルとして掲載させていただきます。冊子体の配布はございませんので、あらかじめご了承くださいますようお願い申し上げます。（※別刷りにつきましては、PDF 版の提供を基本といたします。）

本学会は、本変更を通じて視機能看護学のさらなる発展に寄与してまいり所存です。会員の皆様におかれましては、何卒ご理解と変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。